

# 学生を対象とした講義動画配信の満足度調査報告

早坂 明哲<sup>1)</sup>, 竹下 俊行<sup>1)</sup>, 藤倉 輝道<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学医学教育センター

yhayasaka@nms.ac.jp

## Report of Satisfaction surveys of lecture videos streaming intended for students

Yoshiaki Hayasaka<sup>1)</sup>, Toshiyuki Takeshita<sup>1)</sup>, Terumichi Fujikura<sup>1)</sup>

1) Center for Medical Education, Nippon Medical School

### 概要

日本医科大学では、学生が自学しやすい環境整備の一環として、2016年より全ての授業の資料をLMSに掲載している。また2018年度からすべての講義を録画して配信できるようにし、学生各自で好きな時間に講義の予復習ができるようにしている。講義動画配信について学生の満足度を調査した。有効回答率は23.1%である。回答者のうち91.4%が動画を視聴していた。また98.1%が本サービスの継続を望んでいた。録画した講義の公開は担当教員に委ねているため、公開されない講義が多数存在する。この点について学生から改善が求められており、今後の課題である。

## 1 はじめに

日本医科大学では学生の自学環境の充実・支援を目的に、ICTによる学修支援環境の充実を図っている。2016年度からすべての授業科目で学修支援システム(LMS)を用いて講義資料を電子媒体で配布した[1][2]。また、2018年より原則すべての講義を自動収録し学内限定で配信している。これまでは動画配信システムの視聴記録で利用状況を確認していたが、視聴者である学生の視聴目的や用途を含めた満足度調査は実施していなかった。そこで、視聴状況の把握と環境改善を目的とした満足度調査について報告する。

## 2 ICTを活用した学修支援環境整備

### 2.1 全授業のLMS利用

2016年度よりすべての授業科目でLMSを利用している。これは学生が授業開始前に講義資料を手にすることで予習しやすくする効果が狙いである。2017年度以降は、新年度の時点で前年度の講義資料をそのまま公開することになっているため、学生は昨年度の資料ではあるものの、その単元の資料を事前に確認できる。

また、教務事務は毎時間の講義資料の印刷が負

担となっており、印刷に関わる時間と費用の削減も目的の一つであり、LMS利用以前と比較してコスト削減に貢献している。

### 2.2 講義動画の録画と配信

学生はLMSからすべての授業の講義資料を入手できるが、さらに学生が予習・復習しやすい学修環境の整備の一環として、2017年度から講義を録画して配信することにした。開始時点では録画設備の都合、録画できない講義室があったが、2018年度より機器を追加してすべての講義を録画している。講義動画は講義資料と併せて閲覧して視聴することを考慮し、LMSに授業コマごとにまとめている(図1)。

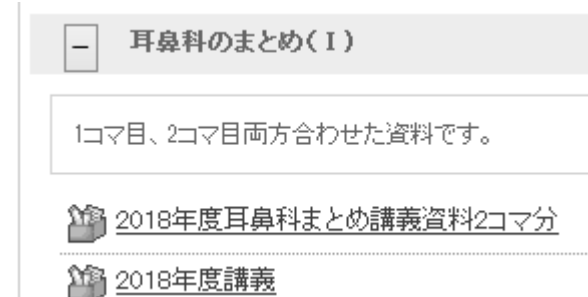


図1 LMS上の講義資料と動画の例

講義動画は基本的に、説明スライドと担当教員が説明している様子を組み合わせたものである

(図 2)。また、講義を録画したものではなく、学内の簡易スタジオや自分で作成したダイジェスト版の動画に差し替えて公開する教員もいる。

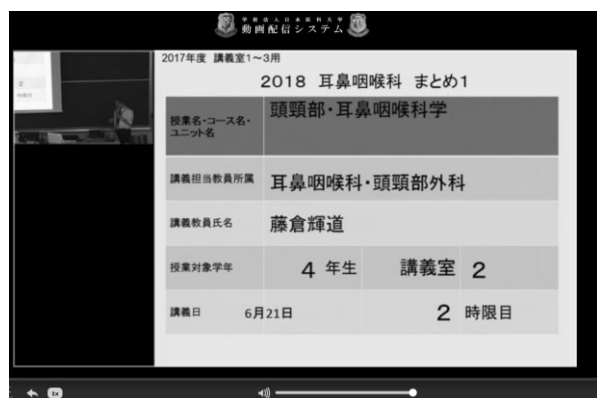


図 2 配信動画の例

### 3 講義動画満足度調査

学生に対する本サービスの有用性と改善のため学生を対象とした満足度調査を実施した。

#### 3.1 方法

2018 年度の本学医学部学生 704 人を対象に、オンラインのアンケートフォームで調査した。主な調査項目は、講義動画の視聴の有無、視聴目的、よく視聴した講義とまたその視聴理由、現状への意見・要望などである。

#### 3.2 結果

有効回答数は 163 件 (23.1%) であり、視聴経験ありは 149 人、なしは 14 人である。視聴経験の有無を学年ごとに示した (図 3)。低学年ほど利用度が高いことがわかる。視聴したことのある学生にその目的を聞いたところ、試験対策が最も多いことがわかる (図 4)。

視聴経験がない学生の主な理由には「視聴する時間がない」、「視聴したい講義がない」「視聴する必要がない」などであった。

回答した学生の 98.1%は本サービスの継続を望んでいる。

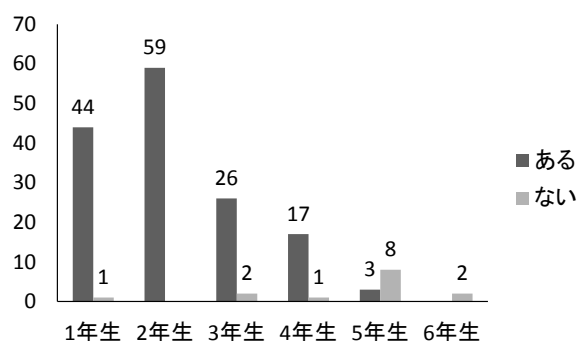


図 3 学年ごとの視聴経験

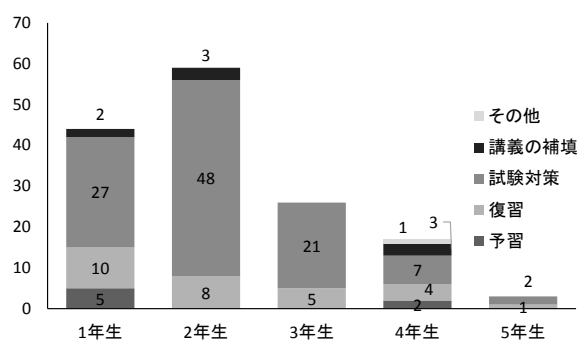


図 4 視聴目的

#### 3.3 考察

学生の予復習のために始めたサービスであるが、最も多い利用理由は「試験対策」であり、積極的な自学への利用には至っていないようである。学生からの意見では「公開されている講義が少ない」というものが多く寄せられた。これは、公開を担当教員自身に委ねており、おそらくは教員自身が忘れていたものと思われる。この対策として今年度からは、事前に公開準備完了と同時に公開して良いか確認しており、前年度よりも公開数は増えている。「講義終了から公開まで時間がかかりすぎる」というものが寄せられた。これは録画した講義動画を担当職員 1 名が目視で確認して公開用ファイルを作成しているためであり、改善方法を検討したい。

### 4 まとめ

2017 年度から開始した講義動画配信について学生の満足度調査を実施した。学生は本サービスを好意的にとらえ、また継続を望んでいる。録画した講義の公開は担当教員に委ねているため、公開されない講義が多数存在する。この点について学生から改善が求められており、今後の課題である。

#### 参考文献

- [1] 早坂・竹下・藤倉 他、全講義科目 LMS 利用と講義配信による自学支援システムの整備、大学 ICT 推進協議会 2017 年度年次大会、2017。
- [2] 早坂明哲 他、医学教育、第 48 巻補刷、p.212、2017。